

(照会先)
全国健康保険協会
船員保険企画グループ
電話：03 - 6862 - 3061

令和6年5月15日

船員の健康づくりの実態や労働環境等に関する大規模調査の実施について

全国健康保険協会船員保険部は、船舶所有者や船員保険の加入者を対象に大規模な意識調査(船員保険(健康づくり等)に関する意識調査)を実施しました。今回の調査は、船員保険部が推進する『船員の健康づくり宣言』¹等の協会の取組に活かすことを目的として、船員やそのご家族、船舶所有者の健康づくりに関するニーズや実態のほか、労働環境等をアンケート調査したものです。期間は令和6年2月2日(金)から2月22日(木)まで、回収数は10,788サンプルであり、次の内容等が明らかになっています。

- 船員の健康づくりの取組状況について、39.4%の船舶所有者は「取り組んでいる」という回答。また、「取り組んでいない」という船舶所有者の回答は34.4%であり、令和2年の前回調査から24ポイント減。健康づくりに対する意識は確実に向上する一方、取り組んでいない船舶所有者が1/3程度残っていることも課題。(調査結果概要版1頁)
- 船員保険部の取組である『船員の健康づくり宣言』に船舶所有者がエントリーしない理由として、「健康管理は個人に任せているから」が47.1%であり、健康づくりは、船舶所有者の関与が重要であることを周知する等により、これまで以上に船舶所有者の関心を高めることが必要。(調査結果概要版7頁)
- 乗船中の歯痛への対処は、「痛み止め等の応急処置をし、下船後に歯科へ行く」が49.5%で最も高い。乗船中は歯科受診できないため、日頃からセルフケアすることが重要。(調査結果概要版12頁)
- 船員の勤務先に対する福利厚生や労働環境等の満足度について調査したところ、健康や働き方への配慮への「不満」が12.3%、「やや不満」が27.0%、合計で39.3%であり、収入や仕事のやりがい、人間関係等の項目別では最も不満がある。(調査結果概要版17頁)
- 長時間労働や連続労働等による身体不調のため医療機関にかかった割合は17.7%となっている。(意識調査報告書(被保険者健康づくり版調査)69頁)
- 勤め先に対する総合満足度は、勤め先が健康づくりに取り組んでいる場合に高くなる傾向がある。(意識調査報告書(被保険者健康づくり版調査)96頁)

¹ 「船員の健康づくり宣言」とは、エントリーいただいた船舶所有者に対し、全国健康保険協会船員保険部がオンラインによる面談等を行いながら、船員の健康づくりに関するフォローや支援メニューの提供等を行う取組みであり、概要は別紙2のとおりです。